

今週のみことば

「主がどんなに大きな事をしてくださったか」

(サムエル記第一 16章14～23節)

「神の霊がサウルに臨むたびに、ダビデは立琴を手にとって、ひき、サウルは元気を回復して、良くなり、わざわいの霊は彼から離れた。」(23)

(マルコの福音書 5章1～20節)

「あなたの家、あなたの家族のところに帰りなさい。そして、主があなたに、どんなに大きな事をしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを知らせなさい。」(19)

今日のメッセージ要旨

◎ 私たちは困難な立場に置かれたとき、そこから神様がどの様にして解放してくださるか？ その恵みを数え、証することの大切さを心にとどめよう

◎サムエル記第一16章では、イスラエルの初代の王サウルが失脚したため(15章)、悲しむサムエルに主が語りかけ、ベツレヘムのエッサイの子ダビデに次の王として油を注ぐのです。神様はダビデを訓練するため、悪霊に悩むサウル王を慰めるために、ダビデを選び、立琴をひいてサウルに仕えることを学ぶのです。神様は働きのために備えて下さる御方です。

◎マルコの福音書5章には、主イエス様が行われた奇跡の御業が記されている。

①1～20節はゲラサ人の地での御業で、「汚れた霊につかれた男性の癒し」です。カペナウムからイエス様と弟子たちはガリラヤ湖を渡った。激しい突風が予想外に起こったが、イエス様はこの突風を静めた。ゲラサ人の地に着き、イエス様は男性から悪霊を追い出して豚の群れに移らせた。その豚の群れは険しい崖から、湖に落ちたのです。

②汚れた霊が、人と神様との関係や神様の似姿をゆがめ、破壊するために人間を使うことが出来るのです。今日も悪霊は危険で、強力であり、破壊的なのです。

私たちは、「破壊に至る自分勝手な道を選ぶのか、それとも、赦しと罪からの癒しときよめと真の自由を与える、人生におけるキリストの愛に満ちた導きを選ぶのか」、問われているのです。そして、その答えが永遠を左右するのです(7)。

③汚れた霊は、自分の名をレギオンであると言った。レギオンとは、3,000から6,000の隊員から成る、ローマ軍の最大部隊のことです。この人は大勢の悪霊にとりつかれていたのです(9)。

④**悪霊の目標**は、住み着いた人間の支配また破壊です。**イエス様の目標**は、罪とサタンの支配から人々を自由することなのです。悪霊は、自分たちにはイエス様を支配することが出来ないことを知っていたので、ただ遠いところに送らないように懇願した。イエス様は、豚の群れに入りたいという願いを赦されたが、人々の中での彼らの破壊的な活動は終わらせたのです(10)。

⑤この人は悪霊にとりつかれていたが、イエス様の御力からの生きた証となった。彼はイエス様のお供をしたかったが、イエス様は彼に、家に帰ってこのことを友人たちに話すようにと言われた。このことによってこの人は、癒やされたことを証明し、社会に再び迎えられ、友人や家族に再会する機会となったのです。